

取らせるによつて、腰が立つならこれへ参りや。妾はおまへに約束の物を拂はねばならぬ。

匈奴兵

来る。

クリムヒルド。 さて、ハーゲン殿、實は何處にあるのぢや。自分が欲しうて問ふのではない。實は此の人間の物であるに依つて、此の人間のために問ふのぢや。

ハーゲン。 實は、あの寶を沈めるに當つて、一人たりとも我が王たちの存命致す間は、誰にもその在所を言うてはならぬと誓はせられたのぢや。

クリムヒルド。 (弱かに匈奴兵に向ひて。) おまへ、まだ腕は確かかや！ よし、それでは彼方へ行つて、捕へておいた王を斬り斃して、その首級をこれへ持つて來や。

匈奴兵。

(心得て去る。)

クリムヒルド。 兄弟の中最も罪ある者を生き存へさせておいては、此の最後の裁きをお笑草にしてしまふやうなものぢや。

匈奴兵。

(王の首級を持ちてかへり來る。)

クリムヒルド。 (それを指して。) 此れは誰の首ぢや！ さあ、申せ、實は何處へ隠した。

ハーゲン。 さてはさては！ てつきりわしの思つてゐた通りの大詰めが來た！ (手を打ちて。)

やい、鬼婆め、さまを見たか！ またもわしが裏をかいやるぞ！ 斯くなつた上は、實の在所

を知つてゐるのは此のハーゲンと神さまとのみぢや！そしてハーゲンも言はねば神も言はぬぞ！

クリムヒルド。 さらばバルムングよ、これが汝の斬りおさめぢや！ (ハーゲンの腰にしたるバ

ルムングを抜き放ちハーゲンを斬り斃す。ハーゲン抵抗せず。)

ヒルデブランド。 死神を差し置いて又もや悪魔奴が出しやばつたな？ 地獄へすさり居らう！

(クリムヒルドを斬り斃す。)

デイトリヒ。 こりや、何をすする！

ヒルデブランド。 したが如何致した！

エツツエル。 さて、また裁判ぢや——— 仇討ぢや——— またも新たな河を血の海へ流さねばなら

ぬのか——— いや、わしはもういやになつた、降参する。少し荷が勝つて來た——— これデイトリ

ヒ、王位は貴殿に譲つたぞ。世界の重荷は貴殿に於て宜しい様に擔うて行きやれ。———

デイトリヒ。 十字架の露と消え給ひし主の御名に於て、確かに承知致しました。

(終)







# 世界童話名作集

四六判各二百頁內外三色版挿繪入

刊續 編七第	刊續 編六第	刊續 編五第	刊續 編四第	版三第 編三第	版三第 編二第	版三第 編一第
殿様の夢	朝寝の音楽家	黄金の河	變な家鴨	軽い王女	魔法比べ	驢馬の皮
大久保幸次譯	舟木重信譯	保高德藏譯	中島孤島譯	矢口達譯	井上芳子譯	楠山正雄譯
トルコの面白味の話で	瑞典の偉大な作家スウェーデンの傑作集	英國の一種の理想郷を作ったお伽噺	有名なアンデルセンの童話の中、特に珍らしきものを集む。	スコットランドの童話にまつる童話	露西亞のお伽噺作家アファナーシエフの作品を集めたもの。	童話の一番面白い作品。ロマンチックの味。

定価各冊一圓三十錢・送料各冊六錢

以下十數編毎月一冊宛發行

# 創作童話

五版 三版 新刊 近刊 刊續 刊續

池の底	太陽と花園	港についた黒んぼ	草笛を吹けば	虹の橋	曇らぬ鏡
大村謙太郎著	秋田雨雀著	小川未明著	吉田絃二郎著	野口雨情著	相馬御風著

以下十數編發行

小冊四スル判二百餘頁・三色版凸版挿畫數葉入

定價一冊各圓一廿錢・送料各六錢



# 世界少年文學名作集

四六判總クローズ製・各冊四百頁  
 内外・三色版寫真版挿繪數葉入  
 定價各二圓●五十錢  
 郵稅 内地六錢・地方十二錢

第三卷第一 トム・ソーヤー物語 マーク・トウェン 邦譯作  
 勇敢で進取的で、そうして無邪氣で滑稽なアメリカ少年を主人公とした非常に面白い物語。

第三卷第二 トルストイ物語 トルストイ 邦譯作  
 トルストイが特に兒童教化のために書いたものの中から興味ある物語を選んだものです。

第二卷第三 人形つかひ シユルタム 邦譯作  
 少年少女諸子に充分の興味を興へ然も純真なる情操を涵養せしむる頗る藝術的價値の高い名篇であります。

第三卷第四 黒馬物語 シユルタム 邦譯作  
 動物に對する同情心を養ふべく書かれた作品で、兩篇共世界的名著であります。

第三卷第五 秘密の庭 パーネット 邦譯作  
 體の弱い男の子と、ひねくれた女の立派な子供となつた話。

第二卷第六 希臘英雄譚 キングスレー 邦譯作  
 原著者が特に少年の讀物として希臘英雄傳中最も興味ある物語を撰んで書かれたものです。

第二卷第七 雪中の三ヶ月 フォエルンヤ 邦譯作  
 一人の牧童が祖父と共にユーラ山中で雪に閉ぢ籠められた時の日記と、有名な童話作家フエネロンの選集。

第二卷第八 ハ イ チ アンナ・スピリイ 邦譯作  
 清く美しくしきアルプス山の自然を背景とした可憐な少女ハイザの變化多き物語。

第二卷第九 不思議の國 ルイス・カロール 邦譯作  
 無邪氣な可愛らしい一少女の見る面白夢の話で、作者の空想と滑稽は正に天下一品です。

第二卷第十 快男兒タルタラン ド・モット・ド・フウケ 邦譯作  
 冒險好きで其癖臆病で、呑氣でそして快活なタルタランの滑稽な失敗談を書いたものです。

第二卷第十一 あべこべ物語 アンヌ・チ 邦譯作  
 魔法石の力で親子が互に入れ替り親が學校生活をして子供が學校生活をするに至る物語。

第三卷第十二 ク オ デ・アミーンチス 邦譯作  
 少年文學として世界的に有名な作品で、伊太利の少年が一ケ年に亘る學校生活を書いた日誌。



第三版 卷三第 クリスマス・カロール 中ゲツケン 孤島ス 島譯

吝嗇な老人が、三つの幽霊に、いろいろなことを夢の中で見せられて改心するに至る教育的の讀みもの。

第三版 卷四第 可憐 兒 八セギユワ 子ル 譯

或る伯爵家の門番の子と、その伯爵君との間に起る可憐な物語。

第三版 卷五第 兄 妹 茅野シエンバツハ 譯

両親が牢へ入つた後、村の人に預けられた兄妹の生ひ立ち、行く、様々な道程を書いたものです。

第三版 卷六第 ゲスタ・ベルリング 野上彌生子 譯

現代女流作家中世界第一としてノオベル賞金を與へられた女史の作品中特に優れて名聲ある傑作。

第三版 卷七第 家の無い子 エクトル・マロイ 譯

マロイの「家無き子」といへば、東西に名高い作品で、織編と共に佛國學士院から家庭讀物に推奨された良書

近刊 卷六第 支那傳説集 木下左太郎 譯

支那の傳説は文學的に非常な興味があるのみならず世界的に於ける最も珍奇な面白い物語であります。

近刊 卷七第 ハックルベリー物語 マーク・トウエン 邦譯

トム・ソウヤー物語の姉妹篇でトムの友達たるハックル・ベリーの活躍します。トムと共に必讀の書です。

新刊 卷廿第 テレマック冒険譚 秋フエネロ 譯

著者は瑞典皇太子の傳育官で、太子と別かるい際に本書を贈りて殿下を教育した面白い物語。

近刊 卷廿第 影 繪 前ソロガト 晁 譯

「影繪」以下數編の短篇を集めたもので、何れも少年時代の心理が巧みに描き出されて居るものです。

刊 卷三第 廣 界 エリザベスベサレル 譯

だん／＼と高い樹に登るやうに美しい廣い世界の有様が自から少年少女の心を惹き入れる名作。

刊 卷三第 少 夫 田オルコツ 純 譯

オルコツトの作品中最も勝れたるも讀の書であります。

刊 卷四第 叢 林 物 語 矢キツプリン 達 譯

有名なツヤングルプツクであり、養育されるといふ少年と動物との話

刊 卷五第 貴 血 大村謙太郎 譯

近代獨逸の愛國的文學者の代表的作品、獨逸少年の精神は本書によりて窺ひ知ることが出来ます。

以下毎月一卷宛發行



版五第

版三第

刊新

吉江孤雁著

# 佛蘭西印象記

著者が在佛六年間の感想録にして實に歸朝後の第一集也。文藝問題社會問題を始め、旅行記等を集めたるもの、氏の筆致が如何に印象的にして詩的なるか、既に定評ある所、しかも戦時中より平和克復に到る迄の佛蘭西の人と自然は深刻なる觀察と鋭利なる批判とによりて示されたり。大方諸賢の必讀を求む。

龍居松之助著

# 文化觀日本史

文化史專攻の著者の文化觀日本史なり。我が三千年の光輝ある歴史を一貫し文化史的見地より觀察批評せしものなれば、從來の歴史書には到底求む可からざる貴重なる多くのものを有す、單に學術的研究の著作たるに止まらず、實に趣味の讀物として亦興味横溢す。殊に著者の最も得意とする建築、庭園、彫刻、繪畫、演劇音曲等の沿革に至つては殆ど他の追従を許さざる大特色を示せり。

サンガー著 奥俊貞譯

# 産兒調節論

社會政策を論ずる者。人種の改良を語る者、民族國家の強盛を希ふ者は、本國の産兒調節論者サンガー女史の著を讀まざざるからず。女史一度國家的見地に立つて産兒の調節、受胎の制限を絶叫するや、参り來りて傾聴する者幾千萬、眞に之れ現代人の耳心を叩く一大警鐘也。

定價 金貳圓貳拾錢

送料 金十二錢

定價 金參圓五拾錢

送料 金十二錢

定價 金一圓七十錢

送料 金十二錢



501  
218

S.T.V



終

